ここ！知ってる？

拠点 京都文教大学 サテライトキャンパスへいこう！

まちを元気にしてくれる学生パワーは、お茶っ人にはなくてはならない存在。そして、通称サテキャンは思いを形にできる拠点。

一緒に夢を実現できる場に

京都文教大学・京都文教短期大学が、宇治の地域の方々と学生・教職員が交流し、いっしょにさまざまな企画を実現していくスペースとして、宇治橋通り商店街にサテライトキャンパス（通称　サテキャン）を6月10日にオープンされました。

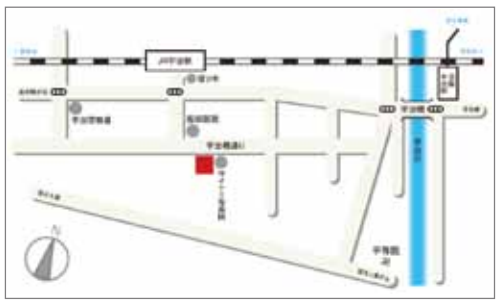
7月7日には、学生と宇治市介護者の会が協力し、サテキャン初のフィールドワーク報告会を開催されました。学生たちがデンマークで体験し、調査したことを、地域の方々にきいていただき、そして、福祉などについてともに考えることができる機会になりました。

また、月に一度、サテキャンを拠点に宇治橋通りの商店と学生スタッフが協力し、「ええもん市」が開かれています。

各種イベント、チャレンジショップ、勉強会、ギャラリー、各種相談会など、人と人がふれあうネットワークの場となり、地域の方々と学生がいっしょに学び、いっしょに夢を実現できる、そんなサテキャンをめざしてこれからもいろんな企画が予定されています。

【アクセス】
ＪＲ奈良線宇治駅下車徒歩３分

サテキャンの玄関はこんな感じです



フィールドワーク報告会のようす

どんどん活用しよう！

こんなこともありました！

居場所 ２日間だけの紡ぎの場 お茶っ人庵

「昔やってた喫茶店があるんやけど」そんな一言で全てがはじまった・・・。

お茶っ人庵 二日間の開店日記

4月初旬。
宇治ママさんからしゅんさんへ、昔やっていた喫茶店があるけど何か出来ないかな？
そんなつぶやきから始まったお茶っ人庵。
そして4月26日に準備委員会発足。何が出来るかわからないけど、何かやってみようってそんな集まりでした。
5月5日・6日のゴールデンウィークにお茶っ人のメンバーだけで何かやってみようということになりました。

1階は喫茶・写真展示。2階は絵画・イラスト・版画など展示してパソコンで絵を描こう教室や、ライブもしようということになりました。
初日はお六さんの「ひとりものがたり」、二日目はゆうさんのフォークライブ。出来ることをみんなでやろう、そんな発想だったのにすごいことになってしまったのです。
あっという間に見違えるような喫茶店に、手作りの“のれん”も、そしてすばらしい作品が飾られ、なんとこれだけの時間で・・・。
地域にはすごい人たちがいるもんだと思いました。
たくさんのメンバーが来店、観光客も入り混じって大盛況。
ネット上のハンドルネーム（ニックネーム）で呼び合って、初めてお会いする方がほとんどなのに、みんな以前からの知り合いのように、参加者もスタッフもありません。
来店した人が自分の出来ることを手伝って、そして楽しんだ二日間でした。
顔の見えるネットワーク、人と人がつながり地域を紡ぐ顔の見えるSNS、地域のSNSを実感した二日間でした。

ほっと落ち着く店内

一日目のお六さんのひとりものがたり

二日目のゆうさんのフォークライブ

お茶っ人新聞投稿ポスト設置しました

お茶っ人に入っていないあなたとも、つながりたい！

サテライトキャンパスに“お茶っ人新聞投稿ポスト”を設置しました。お茶っ人に入っていない皆さんも、この新聞の投稿欄にメッセージをお寄せください。次号以降のお茶っ人新聞に掲載したいと思います。
（紙面の都合上、掲載できない場合もあります。ご了承ください。）

★新聞に掲載されることを了承して投稿してください。
★掲載される際のペンネームをお書き添えください。
★200文字以内でお願いします。

お待ちしていま～す

前向きに生きるためのツール

●日本人の平均寿命は平成17年度の簡易生命表によると、男性は78・5歳、女性は85・5歳であり、世界一の長寿国です。しかし、日本人の健康寿命は男性71・4歳、女性75・8歳であり、この差が不健康な期間です。日本は世界でも有数の『長患い国』なのです。寝たきりはスウェーデンの20倍、認知症は10倍という現状です。この不健康な期間を短縮し、老後を元気に過ごすために、地域SNSお茶っ人に登録して、いろんな人と知り合い、多くの方々と友だちになりませんか。多くの友だちと交流しましょう。コミュニティを作って地域に情報を発信しましょう。お茶っ人は仲間と紡いで共に前向きに生きていくことができるツールなのです。お茶っ人は私たちが元気になり、ほっとできる居場所なのです。みなさんの登録をおまちしています。

（あきこさん）

ＩＴはすごい

●電脳互楽倶楽部（ネット上でパソコンの勉強や、メールの交換、オフ会を通じて親睦を深めることなどを目的にしている）発足以来の仲間が今年の初め脳梗塞で倒れ、左半分が不随になりました。数ヶ月のリハビリの後退院し、自宅に戻った彼からの第一声、“皆様とメールでお話できる事が喜びです”とのメールをもらい、ＩＴの“光、功”の部分に自信を深めました。もちろん彼はお茶っ人にも加入。“日記”を楽しんでおられます。

（ｍａｍｅｄａさん）

出会ったらも～う仲間！

あるイベントにお茶っ人仲間が出演しました。情報を聞きつけて、たくさんのお茶っ人さんが・・・。ついつい、気になるお茶っ人仲間のこと（^^）

にわか仕立てでようあれだけできたわ！！
演奏もステキ、皆楽しそう、
音程チョットぐらいずれても(これ　言わんとこ)、
みんなの和。団長さんの楽しいコメント、
アドリブでさすが「紡ぐ　団長」や！！
また　おれも　聞きに行くで～。

みゅうじっくフェスタ　暑かった1日でしたね、
飲んだものがすぐに(^_^;)になりましたね、
飛んで米米うるうるピラまき隊の皆さんに
元気を沢山もらい、夏はても飛んで行きました、
来年も楽しみにしています。

あれ～皆さん
とても若々しく写っていませんか??
ろく先生 構図的にも技術的にも
◎◎◎

あまりに楽しそうで、若い人のノリを応援してくださる気持ちがうれしくて（撮影：ろくさん）

耳寄り情報！

エコバッグは12月16日のイベントで先着100名様にプレゼントいたします。講演会聞きに来てね！詳しくは表紙を！

種類は3つ！

＊エコバッグはこれからの運営で活用していきたいと思います。（お茶っ人運営部）

つぶやきがかたちに　エコバッグ編

お茶っ人って不思議です。「こんなこと考えているんだけど」そう書いた言葉に共感する人がいる。そして、なにかが始まる。そんな一例をご紹介しま～す。

始まりはペコちゃんさんの日記

2007年1月13日に『実は・・・コレが苦手なんです。とほほのほ』と題した日記を書きました。
それは・・・買い物した後の商品の『袋詰め』
↑実は・・・コレが苦手なんです。・・・こんな書き出しでした。

加えて日記の中に、「お茶っ人のマスコットのイラスト」を入れた「エコバッグ」を商品開発したい野望を抱いています！　エコバッグを作ってみたい！夢で終わらせたくないという『つぶやき』を書き記したのです。すると、「私も使ってますよ」「お茶っ人のキャラクター入りのエコバッグを作りたいですね」など、お茶っ人仲間から、たくさんのコメントをいただきました。

やがては「エコ・グッズ開発コミュニティとかつくっちゃったらどうです？」「お茶っ人エコバッグ仲間を広げましょう！」などの書き込みもあって、もしかしたらエコバッグ制作の夢が叶うかもしれない」不思議とそんな気持ちに変化していきました。そして、「いかようにもお手伝いさせていただます」「ぜひぜひ実現させましょう」そんな強い味方の登場で・・・。

じゃ～ん！ついに、ついに「お茶っ人オリジナル」のエコバッグが完成しました。

この「お茶っ人オリジナル」のエコバッグを持つことによってお茶っ人のPR効果もありますが、何よりも「エコバッグを使う」この小さな小さな積み重ねが、やがては次代を担う子供達に『美しい地球』を残してあげられることに繋がるのではないかと思うのです。この素敵な「輪」がどんどんひろがっていけば嬉しいです。

最後になりましたが、私の『つぶやき』を実現、形にしてくださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

（ペコちゃんさん）